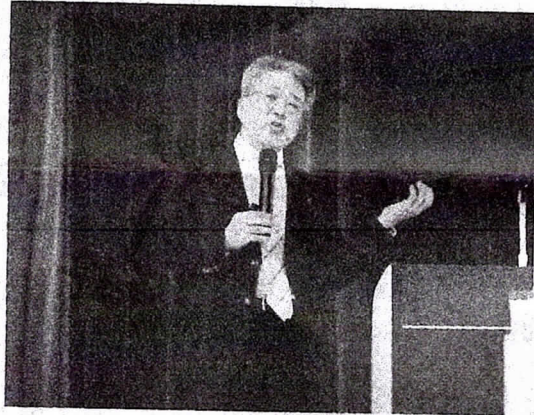


# 地下水と健康どう守る

## 「研究会」が市民講演会



市民講演会で講話する星教授＝10日、市未来創造センター

宮古島地下水研究会(友利直樹、前里和洋、新城竜一共同代表)は10日、市未来創造センター多目的ホールで神戸大学大学院農学研究科の星信彦教授を講師に招いて、市民講演会を開いた。星教授は「環境汚染問題は未来に先送りしてはいけな

い。農薬との付き合い方を真剣に考える時が来たと思

う」と述べた。

講演会のタイトルは「子どもたちの健康を守る。水道水中の農薬、国の基準以下で微量なら安全って本当?」。「命の水、地下水と子や孫の健康を守るため共に考えよう」と呼び掛けて開催した。

同研究会は「発達障がい

の児童生徒数が増加しているのは地下に浸透したネオニコチノイド(ネオニコ)系農薬成分が影響しているとの独自の分析結果を発表している。

それに伴い、星教授が農薬の人体への影響や動物実験でのデータなどを紹介した。

星教授は「化学合成農薬が一般に使用されるようになって約70年が過ぎた。環境中微生物化学物質が生物に及ぼす影響解明には新たな展開が期待される」と話した。